

平成 17 年 12 月 8 日

史跡大安寺旧境内(塔院地区)保存整備事業に係る発掘調査を実施したところ、下記の成果がありました。

記

1. 発掘調査の場所 奈良市東九条町 1340 番地他所在の大安寺西塔跡
2. 発掘調査の期間 平成 17 年 7 月 19 日～現在継続中
3. 発掘調査の主体 奈良市教育委員会
4. 発掘調査の目的 史跡大安寺旧境内保存整備事業により、塔院地区の整備計画立案に関する資料収集のため
5. 調査成果の概要

(1) 最大級の風鐸を発見

前回までの調査で、風鐸の完形品が 2 点出土していますが、今回これよりも一回り以上大型の風鐸の破片を確認しました。

これまで知られていた風鐸の中でも、最大級のものです。

西塔には、大小二種類の風鐸が使われていたのです。大型の風鐸が軒先に、これまでに見つかったものが相輪に使われていたものと考えています。

(2) 塔基壇の全貌を公開

今回の調査で、塔基壇を覆っていた土を全て取り除いています。東大寺に次ぎ、平城京で二番目に大きい塔の基壇の全貌を目の当たりにする最初で、最後の機会になります。

担当課 社会教育部 文化財課

埋蔵文化財調査センター

電 話 0742 - 33 - 1821